

施策名：すべての主体が参加する美しく快適な県づくり

事業名	担当課・室名	ページ
ごみゼロおおいた作戦推進事業	地球環境対策課	2 / 3
未来の環境を守る人づくり事業	地球環境対策課	3 / 3

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	ごみゼロおおいた作戦推進事業		事業期間	平成 15 年度～平成 27 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいたうつくし作戦の推進～
				施策区分	すべての主体が参加する美しく快適な県づくり		
総合評価	<b>A</b>	<b>終了</b>	事業実施課 (局・室) 名	地球環境対策課		評価者	うつくし作戦推進課長 梶原 浩

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県民一斉ごみゼロ大行動など県民総参加による「ごみゼロおおいた作戦」を平成16年度より実施している。この事業の牽引役となるごみゼロおおいた推進隊は、175団体が結成されているものの、構成員の高齢化等により団体の活動の停滞化が課題となっている。	事業の目的	ごみゼロおおいた推進隊の活動等、地域での自発的な取組に対し支援することによって、県内各地域で多様な年齢層を巻き込んだ県民運動に更に発展させる。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	-------------------------------------------------------------------------

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①ごみゼロおおいた作戦実施本部 部局横断的に環境施策を決定・実施する会議(年2回) ②ごみゼロおおいた作戦県民会議 環境施策に対する意見を求める会議(年2回) ③ごみゼロおおいた推進隊への支援 ごみゼロおおいた作戦の波及効果が高い活動等を支援(11団体) ④ごみゼロ探険団推進事業の実施 年間を通じて環境学習を行う団体を支援(14団体)		・環境保全に関する普及啓発活動の支援は、第2次審査(プレゼンテーション)を省略し、審査手続きを簡素化		総コスト	35,422	35,858	
				事業費	10,422	10,858	
				(うち一般財源)	2,353	3,432	
				人件費	25,000	25,000	
				職員数(人)	2.50	2.50	

  

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題
	ごみゼロ大行動参加人数(人)	目標値		367,500	400,000			
実績値			354,556	361,406		361,406		
達成率			96.5%	90.4%		90.4%		
キャンドルナイト参加施設数(施設)	目標値		2,765	2,800		2,800		
	実績値		2,765	3,053		3,053		
	達成率		100.0%	109.0%		109.0%		

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果
	「ごみゼロ隊」登録団体数 〔累計〕(団体)	目標値		1,975	2,000			
実績値			1,982	1,996		1,996		
達成率			100.4%	99.8%		99.8%		

## [4. 今後の方向性等]

今後の方向性	<b>終了</b>	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・県民参加型のごみゼロおおいた作戦の成果を生かしてステップアップさせた、地域活性化型のおおいたうつくし作戦を推進し、県民意識の更なる醸成と持続可能な活動基盤を形成				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	未来の環境を守る人づくり事業		事業期間	平成 23 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～
					施策区分	すべての主体が参加する美しく快適な県づくり
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	地球環境対策課	評価者	うつくし作戦推進課長 梶原 浩

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	本県の豊かな自然環境の保全や循環型社会の構築等を推進していくため、環境問題等に対して主体的に行動する人材育成を行ってきたが、恵まれた環境を次世代へ継承するため、更に人材育成を進めることが課題である。	事業の目的	環境教育アドバイザーを派遣し、子どもから大人までのあらゆる世代や学校や地域などの場において環境教育・学習を推進することにより、環境問題等に対して主体的に行動する人材を育成する。 幼児向け環境教育を実施することにより、幼少期からの環境意識の醸成を図る。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①県民向け環境教育の推進 環境教育アドバイザーの派遣(年137回) ②子ども向け環境教育の推進 幼児向け環境劇の公演(県内幼稚園等25カ所) 幼児向け環境ワークショップ研修(3カ所) ③環境教育学習DVDの制作及び環境学習サイトの再構築 小中高校及び環境教育アドバイザー等へ配布(1,200枚)		総コスト	27,130	32,738	33,639
		事業費	12,130	17,738	18,639
		(うち一般財源)			
		人件費	15,000	15,000	15,000
		職員数(人)	1.50	1.50	1.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	環境教育アドバイザー研修会 実施回数(回)	目標値	2	2	2		<b>a</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育アドバイザーの派遣地域や環境分野の偏りの解消</li> <li>環境専門知識を有する新たな人材の確保</li> <li>学校や地域、職場その他あらゆる場における環境教育・学習の推進</li> <li>幼児期から大人までの発達段階、それぞれの世代に応じた環境教育の推進</li> <li>環境教育を推進するための教材等の効果的な活用</li> </ul>
		実績値	2	2				
		達成率	100.0%	100.0%				
	環境劇公演回数(回)	目標値	25	25	25			
		実績値	32	31				
		達成率	128.0%	124.0%				

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	環境教育参加者数〔累計〕(人)	目標値	63,082	70,000	77,000		<b>a</b>	学校や公民館、PTA等に環境教育アドバイザー制度の周知・広報を行ったことにより、派遣団体数や講座の受講者等が増加し、県民の環境意識が醸成された。
		実績値	63,082	72,194				
		達成率	100.0%	103.1%				

## [4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・体系的な環境教育・学習の推進 ・持続可能な社会づくりに主体的に参画できる人材の育成				